

敬和学園大学と地域社会を結ぶコミュニケーション誌

# KEIWA

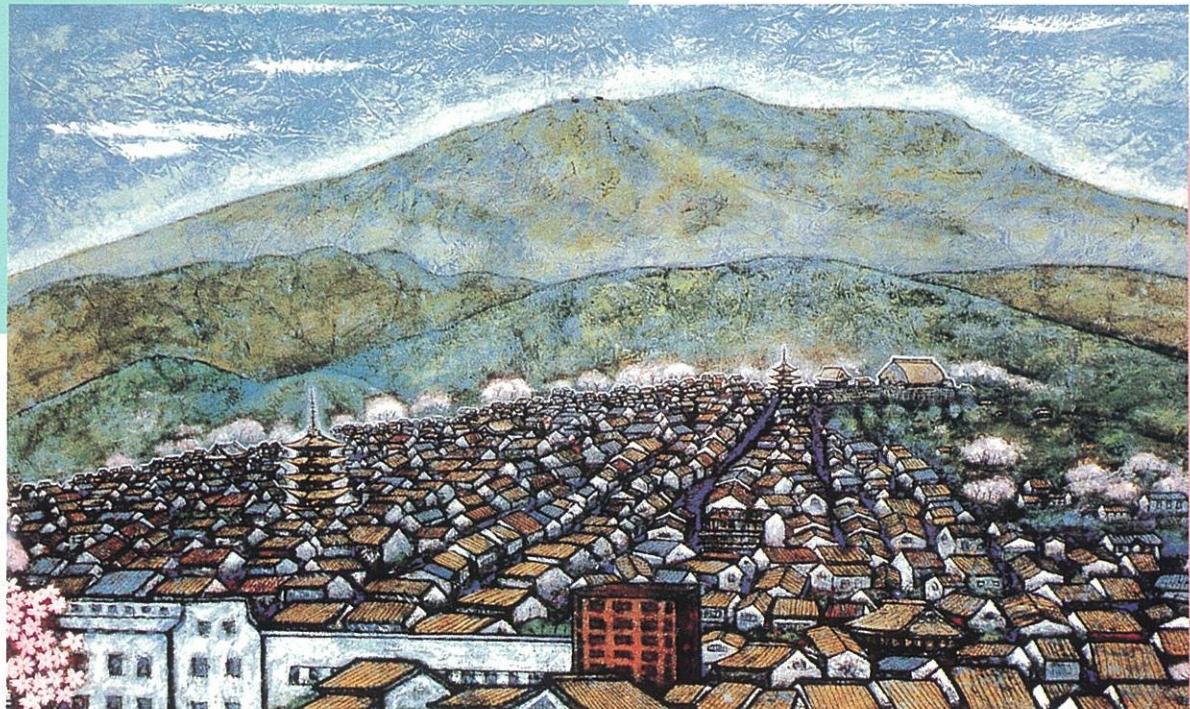
## COLLEGE REPORT



## 第30号

〈APRIL 2002〉

発行/敬和学園大学広報委員会



CLOSE UP

### 開学時のエピソード 北垣宗治

退職された先生がた

LL教室増設

自ら生きる力を

2002年度イブニング・コース

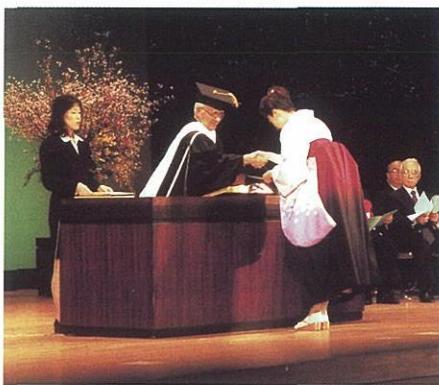
2002年度オープン・カレッジ

敬和学園大、新潟大、新潟国際情報大との  
単位互換制度

2002

第8回卒業式が、去る3月20日聖籠町民会館で行われました。卒業証書・学位記授与は、北垣宗治学長が一人ひとりに「おめでとう」と声をかけながら握手をして手渡しました。はかま姿や振り袖姿の卒業生が式を一層華やかに飾ってくれました。

卒業式終了後は、謝恩会が新潟グランドホテルで盛大に開催され、本年度は、本学在学生が所属する神龍会が和太鼓を披露してくれました。



## もくじ

開学時のエピソード	北垣宗治	1	佐々木小学校での英語の授業	10
退職された先生がた		4	敬和学園大、新大、国際情報大との単位互換制度	11
LL教室増設	金山愛子	5	第8回卒業式	12
自ら生きる力を	今成京子	6	年度内表彰	12
卒業生は今		7	ご退職の先生をお送りする会	12
人気授業をサーチする		7	高橋満さん新発田市表彰	13
2002年度イブニング・コース		8	クラブ紹介	13
科目等履修制度を受講して		8	学事予告／寄付者ご芳名	13
オーブン・カレッジ		9		

<表紙> 安藤 唯一「山、京より見る比叡」  
(安藤司文 本学教授 お父上 日曜画家 画集「表象を描く」から)

# 開学時のエピソード

学長 北垣宗治



つたのです。私立大学というのは寄付金でできた大学なのです。

## 創設費はいくらかかったか？

北垣 この大学を創るのに、創設費は約二十六億四千万円かかりました。まず新潟県が六億円出してくださいましたが、こ

れは敬和より三年早く出発した新潟産業大学の場合と同額が県から支出されたのでした。敬和は新発田市と聖籠町が誘致してくださった大学で、そのため新発田市は約十二億円、聖籠町は約四億五千万円を、それぞれの議会の承認を経て支出して下さいました。従って敬和学園自体は三億九千万円を集めしたことになりますが、これが本当に大変な仕事だったのです。

北垣 たとえば、校舎の建築をお願いする予定の建設会社から寄付金をもらうことは禁じられていました。それがカムフラージュされて紛れ込んだりしていると、ますいわけです。

学生 なるほど。ワイロにあたるわけですね。

北垣 そう。それに、創設費には銀行からの借金を当てることはできないことになつていきました。全部、善意の寄付金でなくてはならなかつたのです。

学生 ここまで言うなら、寄付を返せ

北垣 こんな例がありました。ある会社が学生 先生は先日のチャペル・アセンブリー・アワーで、とても感動的な話をなさつたそうですが。

北垣 はい。何人かの学生さんからよい反応がありました。

学生 すみません、私はあのとき出席していませんでした。でもあの話を聞いた友人が、ひどく感激していましたので、さしつかえがなければ、私にも聞かせてくださいませんか。何か、この大学を創るべきの募金の話のようでしたね。

北垣 そうです。この大学は私立大学ですから、出発するまでには大変な苦労があ

北垣 募金は理事会の責任でした。敬和学園大学設立準備室は、文部省に提出する膨大な資料を作るかたわら、募金活動を担当しました。募金担当理事の指導のもとに、それまでに敬和学園高等学校に寄付をしてくださったたくさんの教会や教員に寄付を呼びかけてきました。また

北垣 こんな例がありました。ある会社が



# CLOSE UP

した。質問などいつでもEメールでできるし、クラスメートとも意見を絶えず交換できました。あれは新しいタイプの授業でした。

北垣 そうです。ほくなんか古い人間で、とても西村先生の真似はできませんが、全部の学生がコンピュータを持ち、それを授業の補助手段に活用すれば、驚くべき効果を発揮できることは明らかです。安藤司文先生は、全学生がコンピュータを持つ敬和学園大学にしたいと、機会あるごとに主張しておられます。

## 大海東京ゼミ

北垣 先輩から大海東京ゼミのことを聞いたことがあります。先生がお辞めになると、もうそのようなゼミはなくなるのでしょうかね。

北垣 いや、そうとも言えませんよ。有志で計画を立てて、大海先生に指導をお願いすれば、これからだつて引き受けてくださると思いますよ。リーダーをきめ、しっかりとプランを先生と相談の上で組む必要がありますが。先生はそれだけ敬和の学生を愛しておられるところは確信しています。大海先生以外にも東京ゼミを実施する先生があります。若月先生と北嶋先生は希望する学生の国会図書館への案内を引き受けたことがあります。

## 「第三世界論」をめぐって

学生 淺野先生もゼミの学生を引率して東南アジアを旅行されたと聞きました。

北垣 そうです、先生はアジアの発展途上

国経済と政治を研究しておられますのが、現状を自分の目で確かめるということが必要ですから、休暇を利用してよく旅をされました。淺野先生の担当された科目は最近まで「第三世界論」と呼んでいました。この科目について思い出すことは、この大学の設置認可に先だって、カリキュラムの原案を大学設置審議会の専門委員が点検したとき、あまりにも古くさい立て方で、二十一世紀を志向する国際文化学科とはとても思えないという厳しい批判が出たのでした。文部省でのヒアリングのとき、専門委員のF教授から、それこそてんぱんにやられました。

国際文化学科のカリキュラムを書き直すことなしには設置認可は得られそうにありませんでした。そこで学長予定者となつたぼくは専門委員のF先生に会いに行き、お話を聞いた上で「平和学」「環日本海文化研究」「イスラーム文化圏研究」「新企業家論」「第三世界論」といった科目をカリキュラムに入れたのでした。改定案をF先生にみせると、「まあ、これならなんとかなるでしょう」とのことです。そこでアジア経済研究所、通称「アジ研」にうかがつて、「第三世界論」の担当者を斡旋していただきようお願いしました。その結果、アジ研の理事から推薦を受けて敬和に来ていただいたのが浅野先生でした。ただし本学がスタートした一九九一年の夏にソ連の崩壊が始まり、社会主義国を表す第二世界が意味を失い、従つて発展途上国を意味する第二世界という呼称も不適切となり、浅野先生の科目が「現代アジア論」と呼ばれて

いることはご承知のとおりです。大学の歴史はわずか十一年ですが、それでも世界の急速な進展に合わせて科目名を変える必要に迫られたわけです。

学生 田中先生について何か聞かせてください。

北垣 田中先生は敬和ではわずか二年間でした。田中先生はオーストラリア国立大学のガーランド・マコーマック教授の「日本経済崩壊の原因を探る—土建国家の行く末」という講演をぼくは忘れることができません。マコーマック教授はオーストラリアでも指折りのジャパノロジストです。田中先生は従軍慰安婦問題という深刻な問題を追求してこられましたが、一方的な糾弾のみといった姿勢でなく、バランス感覚があり、先生の議論には説得力がありました。

学生 ありがとうございました。この大学の出発にさして、募金の面だけでなく、カリキュラムの面でも大いにご苦労があつたことがよくわかりました。授業を取つてゐる学生の立場から、カリキュラムについていろいろ意見を申しあげても良いと聞いていますので、私なりに考えて、考え方を先生に申し述べてみたいと思いまが、よろしいでしょうか。

北垣 ご意見、大いに歓迎します。学生さんが大学の形成に参加するというのは、まさしくそういうことです。喜んでうけたまわりましょう。

## 退職された先生がた

### グローバル化 いかに生き抜くか

前 国際文化学科教授 田中利幸



私は、一昨年四月、二〇年に渉るオーストラリアでの大学教員生活に見切りをつけて敬和学園大学に赴任

しました。オーストラリアの諸大学は、現在日本の国立大学で押し進めようとしている「大学法人化」、つまりは「独立採算制」をかなり前から猛烈にすすめてきたため、教育の質の急速な低下と研究時間ならびに研究費の急激な削減にみまわれました。こんな状況を逃れて敬和に赴任した私は、本学教職員の和やかな雰囲気、それに学生と教員の親密な関係に正直いって本当に感激しました。

現在、「グローバル化」の必要性が様々な分野で唱えられていますが、世界の多くの国々で呼ばれている「大学改革」もまた、本質的には、経済利益絶対優先の価値観をあらゆる地理的空間に貫徹させようとするこの「グローバル化」を教育の分野にも徹底的に浸透させようとする現象の一つに過ぎないと私は考えています。現在「少子化」という問題に直面している日本の諸大学はたいへん困難な時期を迎えていますが、こ

れから大学を卒業していく若者たちにとても、「グローバル化」に起因する高失業率、激しい経済競争、貧富の差の拡大、社会福祉予算の大削減、犯罪の増加等々、たいへんな状況を生き抜いていかなくてはならない時代になってしまった。

私は本年四月より広島市立大学広島平和研究所に移りましたが、こうした「グローバル化」が生み出しているもう一つの重大な現象である「地域紛争」に対し私たちはどう対処していくべきかを常に念頭におきながら、「平和研究」という仕事を進めていきたいと考えています。

敬和でのこの二年間は、長く日本を離れていた私にとって、日本社会の現状を学生諸君と同僚の教職員の方々から教えていただくたいへん貴重なキャンパス生活となりました。深く感謝している次第です。

### 扉を開く時

前 国際文化学科助教授 西村 秀雄



西村センセイの授業はいつもS21教室。さすがのセ

ンセイも、あの重い扉を開く時には緊張するんです

よ。知つてました？

でも教室の中に皆さんの姿を見つけた時から様子は一変。歌あり、踊りあり、クイズ番組あり、映画あり、そして「おもちゃ」こと、センセイお手製の再現実験装置あります。

何でもありの授業の始まりです。

ハイライトはセンセイと皆さんとの真剣勝負のやり取り。目と目で、そして毎回の提出物で。授業が進むに連れ、皆さん目の輝きがどんどん変化していきます。

敬和に着任してから十一年。こんな授業をずっと続けられたのは、他ならぬ皆さんのお陰です。親は子に教えられ、教師は学生に教えられます。つくづく「敬和では学生に恵まれたな」と思っています。

西村センセイはまったく新しいことにチャレンジするのが大好きです。形となつて残っているのは学バスの運行と入学式・卒業式のやり方くらいなのですが、敬和でもたくさんのこと挑戦したんですよ。

西村センセイが本当に挑戦していたことの意味は、実は、一貫して学外で評価されていました。そのご縁で金沢工業大学へ移ることになりましたが、これもセンセイの新たな挑戦だと思つてお許しください。

チャレンジでくるのは西村先生だからだろうって？ そんなことはありません！

どんな時代でも、未来の扉を開くのは若い人です。老人は未来を拓きません。自分が時代遅れであることに密かに怯えて過去に拘泥するしかない老人は、未来を、そして実は最後に、ゲームそのものを失つてしまふのです。混乱と変革の時代こそ、あなたたち若い人の出番。キーワードは先を読む力と人を見る目、たったそれだけです！

そうそう、四月以降も毎週金曜日には非常勤で講義しますし、その様子はサイト [http://www.page.sannetne.jp/f\\_nishi/](http://www.page.sannetne.jp/f_nishi/) で公開します。ぜひご覧になってください。

# L L 教室増設

外国语改革委員会委員長 金山愛子



この度栄光館のE31教室が、新しいL L 教室として生まれ変わりました。一九九五年度のカリキュラム改革以来、英語の授業は三つのレベルに分け、同一レベル内に「読む」「書く」「聴く」「話す」の技能別四コースを設けて木目の細かい教育を目指して参りました。実用的な英語力を持つた学生を育成することを主眼として始めた語学プログラムですので、「聴く」「話す」の授業はすべてネイティブスピーカーが担当し、週三回の「聴く」（前期）「話す」（後期）の授業のうち週に一回はL L 教室を使い、L L 教室を担当する。

この度増設されたL L 教室は、従来型のL L 設備だけではなく、CD、MD、CD-ROM、DVD、ビデオ用機器やコンピュータを備えたマルチメディア型の教室です。収容人数二十八人という小さな教室ですが、本学の少人数クラスの語学の授業には最適ですし、このような設備の充実により、昨今出版されている多彩な教材を使用することが可能になります。また、これまでのようにカセットテープだけに頼ることなく、CDやMDを含めて各学生の進度に合わせた教材を提供することが可能になりました。また、これで教員のコントロールパネルから流した教材を、学生の側でカセットテープ以外にMDにも録音することができます。またビデオ用のスクリーンやプロジェクターも備えてありますので、映画鑑賞も楽しめます。

さらに、今回のL L 教室増設に伴い、アルク教育社の「ネットアカデミー」という

用し、学生各自のペースに合わせて進めるように配慮しています。この他にも、「英語音声学」「教育の方法・技術」といった教職課程関連科目、「検定試験準備コースI」「検定試験準備コースII」という実用英語技能検定やTOEICなどの試験対策科目でもL L 教室は活用されています。したがって、現在六〇席あるL L 教室の稼動率は九〇%を超え、L L 教室の増設がぜひとも必要になりました。

この度増設されたL L 教室は、従来型のL L 設備だけではなく、CD、MD、CD-ROM、DVD、ビデオ用機器やコンピュータを備えたマルチメディア型の教室です。収容人数二十八人という小さな教室ですが、本学の少人数クラスの語学の授業には最適ですし、このような設備の充実により、昨今出版されている多彩な教材を使用することが可能になります。また、これまでのようにカセットテープだけに頼ることなく、CDやMDを含めて各学生の進度に合わせた教材を提供することが可能になりました。また、これで教員のコントロールパネルから流した教材を、学生の側でカセットテープ以外にMDにも録音することができます。またビデオ用のスクリーンやプロジェクターも備えてありますので、映画鑑賞も楽しめます。

さらに、今回のL L 教室増設に伴い、アルク教育社の「ネットアカデミー」という

ネットワーク型マルチメディア学習システムを導入しました。このシステムにはTOEIC対策用の「スタンダードコース」や「初級・中級者のためのスコアアップコース」があり、各自の英語力に応じて、レベルを選んで自習することができます。さらに、このシステムはL L 教室以外にも無線LANのつながっている教室にノート型パソコンを持ち込んで教材をダウンロードすることによって、学内ならどこでも利用できます。このようなシステムを十分に活用することにより、授業だけでは対応しきれない部分を補うことができます。実際、「検定試験準備コースI、II」ではこのシステムを授業と併用し、受講者全員が目標に到達できるよう厳しく指導されるでしょう。やる気のある学生の皆さんにはどんどんこのシステムを利用して英語力アップに励んでもらいたいと思いますし、英語の苦手な皆さんもマイペースで英語に親しんでもらいたいと期待しています。また、語学に限らず、演習やこれからますます盛んになるメディア教育の一環としても、新しいL L 教室には大きな可能性が内在していると思います。ぜひ、教員、学生の皆さんにL L 教室を活用していただ

きたいと願っています。

# —自ら生きる力を—

カウンセリング・ルームで今成京子臨床心理士にお聞きしました

—今成先生は大学以外でも中学生や児童が、親のカウンセリングをなさっているそうですが、そこで一番、問題になつてるのは何でしよう？

中学では不登校、いじめの問題です。児童では、落ち着きのない子ども、友だちができない子どもが増え、場合によつて、児童虐待なども多くなつていています。特にここ数年、ごく正常に発達してきたと思われる子どもにも、集中力の欠如、マイペースが増えており、全体の印象として子どもの社会性が育ちにくくなつていています。

—なぜこのような子どもが増えてきたのでしょうか？

一つは親の育つてきた環境が問題でしょう。今の三十代の親は偏差値世代です。この世代の親は六十代で、敗戦によって從来の儒教的価値観の変換を余儀なくされてきました。すなわち、子どもをどう育てよいか方向性がないままに、自由な風潮だけ先行し、しつけや社会一般の常識やルールも教えられないで育つた人が多いと思います。それは世代間伝達といつて、自分たちの子どももまたうまく育てられない親を生み出しまつています。その結果、社会性（対人関係能力）の育ちにくい子どもたちが増えてきているのは確かです。

児童に限らず、小中学生で何らかの心配がある場合、まず親が専門家の所に相談に行つてみてください。

—今の中学生と大学生に心の問題で共通性はありますか？ 子どもの頃の遊びといえばコンピュータ・ゲームという世代だと

思うのですが。

対人関係が希薄で、さみしい子どもが増えています。メールがはやるのもそのためですね。自分の世界からしか周りを見られない人も増えています。また、家庭の問題もあります。友だちとしゃべれない、といふ学生と話すと、その家庭のイメージが全く湧かないケースが多いです。これは親との暖かいコミュニケーションがなかつたからでしょう。親が忙しすぎて、子どもの気持ちをほぐすような会話をすることがなかつたのでしょうか。ただ「大学に入り、卒業して、就職すればいい」と子どもに言うだけで、子どもにどのような人間になつてほしいのかというメッセージが伝わっていないのです。

—ひきこもりが社会的問題となっていますね。これに関しては、できるだけ対応を早くしなければなりません。家庭内暴力などの前兆があるので、サインを見つけた時は、早めに精神科の医師、地域の保健婦、精神衛生相談員その他、精神保健の専門家に相談した方がよいでしょう。

—でも、小中学生時代に不登校、ひきこもりであつても、大学に入つて毎日生き生きしている学生もいますね。

はい。社会性を身につけるか、自立できるかどうかというのは結局、本人の持つている生きるエネルギー、意志が大きく左右します。大学時代にやりたいことや、精神的な抛り所を見つけることがきっかけとなり、立ち直る人も多いのです。

将来の見通しを立てにくく学生もいるようですが、そんなときは、カウンセリング・ルームに来てください。どんな人でも生きる力は持っています。それと本人が分からずにはいるだけです。カウンセラーはその人に沿つて、自分で自分の道を見出せるよう援助するのが仕事です。

カウンセリング・ルームは毎週月曜（一四〇〇～一八〇〇）、火曜（一四〇〇～一八三〇）を開いています。気軽に門をたたいてみてください。

—ありがとうございました。

（聞き手：松本ますみ）

りくつつくのではなく、子どもの精神状態を感じ取る努力を払いたいのです。親と教員が、自立に向けての方向づけをしていくことがこれからの大手では必要になつてくるでしょう。

## 卒業生は今

### 留学の理由と価値

一九九七年度卒業 高橋 麻美

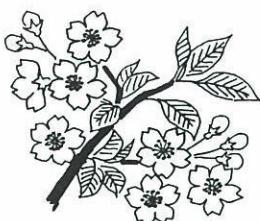
海外への留学に興味のある人、考えたこともない人、そして海外旅行なら何回か行ったことがあるという人、さまざまです。私は、留学をしなくては絶対に気がすまない、という学生の一人でした。敬和学園大学を卒業後、二ヶ月後にアメリカに飛び、留学生活を始めた私。今ではカリフォルニアでの生活も、四年目になろうとしています。予定では一年の予定だった私の留学。しかし、こちらに来て発見した可能性を理由に延長を決意。もちろん、四年間にいろいろな経験、そして状況にぶつかりました。夢の達成感とそれに伴う精神的なプレッシャー。またそれと一緒に慣れというものの怖さを時間とともに、学んできました。

「新しい友達をつくって、こっちの生活に、英語での生活にすぐに慣れてやる。もちろん、私ならできるだろうし」という、意気込みいっぱいが始まつた英語学校での生活。そして家はホームステイ。その勢いとは反対に、自分の英語の乏しさを実感。誰も英語を話せない人となんか友達になりたいはずがない、と落ち込みかけたころ、渡米五ヵ月目にして、なんとかアメリカ現地の大学に入学し、クラスの中で日本人は私だけというものを経験。体重急減。アメリカでハンバーガーとコーラの生活をして太るだろうと思っていた私にとつては思い

がけないできこと。私とストレス？ 慣れない環境の中で、日本にいてはめったに結びつくことのない二つの言葉が、簡単にも結びついてしまつたのです。そんな私の背中を押した二つのもの。挑戦」とびらきなおり、「その二つに慣れというものが加わり、なんとかカレッジを卒業。諦めず英会話の場を持とうとした結果でしよう

か、今現在は、カリフォルニアにある「バインガルスクール」で日本人の子どもたちに英語を教え、また日系アメリカ人の子どもたちには日本語を教えるという仕事につき、できるだけ多くの子どもたちにバイリンガルになって欲しいと、がんばっています。私は幼いころ英語に触れる機会がなかったので。

最後に、私をいろんな意味で支えてくれている、友達、そして家族のみんな、本当に感謝しています。私一人の力での留学は絶対不可能でした。みんなのおかげです。ありがとうございます。



## 人気授業をサーチする

二〇〇一年度卒業 木村真美子

「現代哲学」を受講して、私はとても大きな衝撃を受け、そして多くのことを学んだと思います。この講義では、日本哲学界の「真」の意味での第一人者であるといわれている西田幾多郎をはじめ、日本だけでなく西洋哲学にもふれることによって、そこから現代の様々な問題について見ていました。様々な「哲学」にふれることによって私は、自分自身の視点・価値観が変わり、そして広がりました。「哲学」を学ぶことによって自分自身と向き合う機会が得られたのです。そして、なによりも「哲学」は、「考える」楽しさを教えてくれます。「哲学」は講義の中だけではなく、私たちの普段の生活にも関係があります。人々は悩んだり、苦しんだり、泣いたり、笑ったりします。その中で「哲学」はそういった人々の感情と背中合わせに存在するのです。

この「現代哲学」の講義は答えがありません。人それぞれが考えをもち、答えをもつてるので非常に興味深く取り組むことができるかと思います。私自身、「現代哲学」を受講したことによって大きな満足を得ることができました。延原先生には感謝しております。ありがとうございました。

# 2001年度イブニング・コース

地域に開かれた大学を目指して、社会人の方が受講しやすい時間帯に「イブニング・コース」を設置し、本学カリキュラムの一部を開講しています。

イブニング・コースの時間帯は午後七時から八時三十分までです。昨年度は四十一名の社会人の方がこのイブニング・コースを受講し、大変好評でした。

今年度のイブニング・コース開講科目は下表のとおりです。このうち、「新約ギリシア語入門1／2」は、キリスト教信徒の方々やキリスト教に興味を持つ方に聽講していただけるようとに昨年度から開設された「神学基礎講座」の一環として設置された科目です。

この本学ならではの講座の「神学基礎講座」は、受講者の方のご要望に応じて今後も内容を充実させていく予定です。興味のある方はどうぞ奮ってご参加ください。

イブニング・コースの授業内容や受講の詳細については、教務課教務係までお問い合わせください。

## ■開講場所

本学キャンパス

ただし、木曜日開講の「文

化・文学比較論」は新発田市生涯学習センター

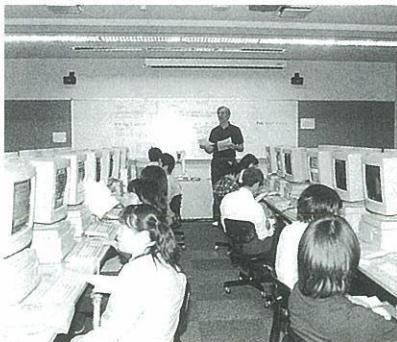
■授業料 一単位につき一万円

●お問い合わせ・募集要項請求先

敬和学園大学教務課教務係  
☎〇二五四一一六一一五一四(直通)

## 2002年度イブニング・コース開講科目

開講日	科 目 名	単位数	担 当 者	開講期
月曜日	カレント・トピックス	4単位	Mary Hughes	通年
	ミュージカルフィルム	4単位	Allan Blondé	通年
火曜日	上級ディスカッション	4単位	Conrad Matsumoto	通年
	文学1／2	各2単位	若月忠信	前期／後期
	新約ギリシア語入門1／2	各2単位	山田耕太	前期／後期
水曜日	音楽で学ぶアメリカ文化	4単位	Mark Frank	通年
	日本語教育入門1／2	各2単位	有田佳代子	前期／後期
木曜日	文化・文学比較論1／2	各2単位	北垣宗治	前期／後期
	異文化間国際金融実務論1／2(国際金融論1／2)	各2単位	中村正董	前期／後期



現在社会人が約八十名在籍し、学習意欲の高さがうかがわれます。科目には、話題性の高い、経済、環境、資源、バイオに関するもの、語学その他もあり、大いに魅了させられます。向後、学ぶ社会人が増えることだと思います。そうなると、先生、学生と大いに交流でき、お互いの不足を補うことにより、学内外の活性化がより進むことが期待されます。

応用化学を専攻し、化学会社に就職。退職後、違う分野で勉強したいと、二年前から貴学の履修生になりました。

石井 彦光

科目等履修制度を受講して

# 2002年度オープンカレッジ

## 新発田市

### 「変動する世界とイスラーム」

期 間：2002年5月28日～7月9日 毎週火曜日  
19時～20時30分  
場 所：新発田市生涯学習センター大ホール  
参加費：3,000円  
定 員：300名

日	テ ー マ	講 師
5/28	「イスラーム教とは」	英知大学大学院教授 松本 耿郎
6/4	「アラビア半島はどう付き合うか」	中東研究家 遠藤 晴郎
6/11	「文明間の対話」	教授 延原 時行
6/18	「9.11以降のアメリカのイスラーム認識」	専任講師 前嶋 和弘
6/25	「日本人のイスラーム認識」	助教授 松本ますみ
7/2	「パレスチナ問題とは何か」	教授 永野 茂洋
7/9	「イスラームとは」	英知大学大学院教授 松本 耿郎

### シンポジウム

テーマ：「変動する世界とイスラーム」  
パネリスト：延原時行 教授、永野茂洋 教授、前嶋和弘 専任講師、  
松本ますみ 助教授、松本耿郎 英知大学大学院教授  
司 会：宇田川潔 事務局長  
期 日：2002年9月28日（土）午後2時～5時  
場 所：新発田市生涯学習センター 大ホール  
参加費：無料  
定 員：300名

### 秋ゼミナール形式

2001年度にも開講したゼミ形式のオープン・カレッジです。  
2002年度は2テーマ開講します。

場 所：新発田市生涯学習センター 研修室
参加費：1テーマにつき3,000円
①開講日：2002年10月9日、16日、23日、30日（水曜日）
テーマ：「比べて見よう—世界の民話と童話」
講 師：ジョイ・ウイリアムズ 助教授
②開講日：2002年10月1日、8日、22日、29日（火曜日）
テーマ：「仏教とキリスト教の対話」
講 師：延原時行 教授

## 三条市

### 「ジェンダー論」

毎週月曜日 19時～20時30分開講

日	テ ー マ	講 師
10/7	「ジェンダー論今昔：イントロダクション」	専任講師 杉村 使乃
10/14	「ジェンダーの視点で見たマリア像」	教授 山田 耕太
10/21	「ジェンダーで読む近代日本」	特任教授 加納美紀代
10/28	「民話の中のジェンダー」	助教授 ジョイ・ウイリアムズ

## 豊栄市

### 「教養講座」

毎週水曜日 19時～20時30分開講

日	テ ー マ	講 師
6/19	「親と子のコミュニケーション」	学長 北垣 宗治
6/26	「ヨーロッパ中世末期における死 生觀」	助教授 岩倉 依子
7/3	「夫婦・家庭のコミュニケーション」	専任講師 杉村 使乃
7/10	「国際化時代の教育における総合的学習」	教授 柴沼 晶子
7/17	「おんなのくらし西と東—韓国と東北日本をくらべて」	教授 神田より子
7/24	「老いを生かす環境作り」	ボランティアコーディネーター 山崎ハコネ

## 聖籠町

場 所：聖籠町公民館／聖籠町民会館

参加費：無料

### 春セメスター

①開講日：2002年7月3日、10日（水曜日）  
　　テーマ：「新潟が生んだ作家たち」

7/3 「坂口安吾、会津八一」

7/10 「日本のゴッホー山下清の新潟」

講 師：若月忠信 特任教授

②開講日：2002年6月6日、13日、20日、27日（木曜日）  
　　テーマ：「歩いて歩いて健康作り その2」ゼミ形式

講 師：久島公夫 教授

### 秋セメスター

2001年度にも開講したゼミ形式のオープン・カレッジです。

①開講日：2002年10月9日、16日、23日、30日（水曜日）

　　テーマ：「新潟が生んだ作家たち」

10/9 「坂口安吾の新潟」

10/16 「会津八一の奈良」

10/23 「高村智恵子と新潟」

10/30 「高村智恵子と新潟」（現地視察は別日程）

講 師：若月忠信 特任教授

## 佐々木小学校

### 皆さん暖かい歓迎

英語英米文学科助教授

ジョイ・ウイリアムズ

大学の先生がたに小学校で英語の手ほどきのお手伝いをしていただくことはできますか? 昨年十一月、大学近くの佐々木小学校の松原先生が大学を訪れ、そんな話を切り出されました。その時は、何ができるか見当もつきませんでした。大学の教師はあまり子どもに教えたことはありませんし、子どもに教えるのと大学で教えるのは大違いだからです。もうひとつ心配がありました。一日だけのイベントに終わってしまうのではないかということです。「ガイジン」がステージに上がるだけの国際ショーになるのではないか、そんな場合、子ども一人ひとりとコミュニケーションをとる機会がほとんどないのではないかと。

松原先生は私の心配を分かってくれました。何度もEメールで意見交換した後、三、四人の教師を敬和から派遣する、佐々木小学校側がすべての実行計画を立てるということ意見が一致。私の他にマーク・フランク先生とコンラッド・マツモト先生、四年生の平沼弥生さんがボランティアで十二月一日の国際交流イベントに参加してくれることになりました。

当日、低学年では、歌から始まり、子ども自己的紹介が続きました。中学年では、振り付けつきの歌の輪に入れてもらいましたし、高学年は英語の言葉や台詞が入ったミニドラマを演じました。その日は父母参観日で、保護者のみなさんも参観したり、一緒に参加し

たりしました。

終わってみれば、誰にとつても楽しい経験でした。佐々木小

学校の先生がたの綿密な準備の

おかげで、子どもたち一人ひと

りが英語でコミュニケーションをとれる

きっかけで、子どもたち一人ひと



## ハローフエスティバルを終えて

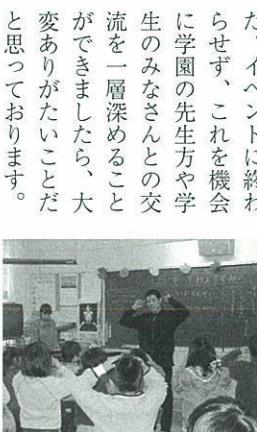
新発田市立佐々木小学校教諭 松原 郁子

大学の使命の一つは、地域に奉仕することですから——という北垣学長の言葉で、わたしたちのハローフエスティバルは実現しました。

この春から新しく「総合的な学習の時間」が始まり、国際理解教育の一環として小学校で英語活動を行つてもよいことになりました。佐々木小学校の子どもたちにも、生の英語にふれさせたい、よその國の人たちとふれあう経験をさせたいと、この「ハローフエスティバル」を計画したのです。

初めはうつむき加減でドキドキしていた子どもたちも、すぐに目を輝かせ、英語で話そうとしています。普段はちょっと恥ずかしがりやさんも、にこにこして一生懸命先生方の口もとに目を凝らし、耳を澄ましています。子どもたちの心がどんどん開かれていくようでした。英語圏の文化を背景にした先生方のお人柄のためでしょう。

当日参観した保護者のみなさんからも、是非こういう機会を増やしてほしいとの声が聞かれました。子どもたちも、「また来て下さい」と先生方へのお手紙に書きました。イベントに終わらせず、これを機会に学園の先生方や学生のみなさんとの交流を一層深めることできましたら、大変ありがたいことだ



# 敬和学園大学・新潟大学・ 新潟国際情報大学の単位互換が始まります

教務部長 山田耕太

本年四月から本学の授業科目を補い、さらに充実させるために新潟大学人文学部と新潟国際情報大学の三大学間での単位互換制度が始まります。

本年度は、新大人文学部の前・後期を合わせて六十科目、国際情報大の前・後期を合わせて八十七科目が、本学の卒業に必要な単位として認定されます。

本学は、一九九八年度後期から県内初の単位互換制度を導入し、放送大学の約三百科目の中で、本学の授業科目と重ならず、補う約百十科目を本学の卒業に必要な単位として認めています。また、昨年度後期から県立新潟女子短期大学との単位互換制度が発足し、県短の前・後期・通年合わせて四十科目を本学の卒業に必要な単位として認めています。

詳しくは、学生便覧を見てください。またガイダンスを前期末・後期末に行います。

## 単位互換科目の一例

新潟大学人文学部	地域社会学	2	前期／後期	日本を中心にしてアジアやヨーロッパの家族と地域の制度について学習し、各地域の基層文化の違いなどについての知見を広める。
	古典語AⅠ／Ⅱ	2	前期／後期	カエサルの『ガリア戦記』を原文で読む。
	芸術コミュニケーション基礎論Ⅱ	2	前期／後期	「音楽と評論」をテーマとします。クラシック音楽が評論でどう扱われているかを勉強し、音響芸術と文学テクストという異文化間の交流と関連性を考えると同時に、クラシック音楽の基礎知識を修得することを目標にする。
新潟国際情報大学	現代韓国朝鮮論	2	前期／後期	解放後、現代にいたるまでの韓国社会の変貌と現状について、政治、経済、文化、教育などの各方面から述べる。
	ジェンダー論	2	前期／後期	ジェンダー学とは何かをわかりやすく、自分たち自身の問題として受け止め、考えてもらえるような授業を行う。
	認知科学	2	前期／後期	認知科学とは哲学・心理学・人工知能・計算機科学など様々な学問を結集し、多様な観点から人間の心の動きを解き明かしていこうとする学際的分野である。



三月八日から十日の日程で、ノースウエスタン大学の新学長ブルース・マーフィー夫妻と、留学生担当のグレイス・ローラー女史が来学されました。同大学とは、開学に先立ち、キリスト教主義高等教育のパートナーとしての盟約を締結しています。

八日は、新発田市長と聖籠町長を表敬訪問しました。新発田市は、本学の同大学との姉妹協定がきっかけで、一九九五年にオレンジ・シティと姉妹都市になっています。夜には、ホテルオーネクラ新潟で、本学主催の歓迎夕食会が行われ、本学から北垣学長のほか八名の教職員が同席しました。

また、九日は、午後から学長同士の充実した会談が、新潟市の全景が一望できる「日本海タワー」で行われました。その後「りゆうとぴあ」の能楽堂、続いて新発田城跡などを見学し、夜は、新発田ベルナルドオレンジ会が主催する歓迎夕食会に参加していただきました。同会は、一九九二年にオレンジ・シティを訪問した十九人で発会し、現在約一七〇名の会員がいます。

翌日、新潟教会で礼拝に出席した後、新潟空港から関西に向け出発しました。三日間、北垣学長が同行し、友情を深めることができました。（報告：総務課長）

アメリカ  
ノースウェスタン  
大学長來学

# 第八回卒業式

## 年度内表彰



敬和学園大学第八回卒業式が、去る三月二十日聖籠町民会館で行われ、二〇七名が卒業しました。

卒業式は、キリスト教形式で行われました。ベルの音が十五秒程度鳴り響くと、それまで、久しぶりに会った友人や仲間たちとの談笑でにぎやかだったホールが、一瞬静寂に包まれ、前奏が始まりました。

延原時行宗教部長の聖書朗読・祈祷のち、卒業証書・学位記が、北垣学長から一人ひとりに手渡されました。卒業証書・学位記授与の最後に、特別表彰が行われ、故浜田綾子さんが表彰されました。故浜田さんは、重篤な病気を抱えながら大変熱心に通学していましたが、卒業を五ヶ月後にひかえた昨年一〇月に突然天に召されました。熱心に勉学に励む彼女を知る多くの人から卒業式を故人と一緒に迎えたいとの強い願いもあり、また故人の努力を覚えて、特別に表彰したもので、お母様が受け取られました。

本年度は、聖籠町のコーラス・グループ「聖籠の杜」の皆さんのが、ステキな合唱を披露してくださり、卒業式に華をそえてくださいました。

渡邊聖籠町長様、片山新発田市長様はじめ多くの方々から祝辞や祝電を頂戴し、これから社会にはばたく卒業生を励ましてくださいました。

本学では毎年、課外活動で優秀な成果をおさめた学生個人とクラブを称えるために「年度内表彰制度」を設けています。二〇〇一年度は、次の学生とクラブが受賞いたしました。

### ☆個人受賞者

#### 国際文化学科三年 伊関 望さん

受賞理由：敬和祭実行委員長、スポーツ大会実行委員長、学生団体代表責任者会長を務められ、また少林寺拳法部員として新潟県大学生大会で第一位を獲得するなどの活躍をされました。

### ☆団体受賞 バドミントン部

### 軽音楽部

受賞理由：バトミントン部は豊栄市オーブン大会、新発田市総合体育会で、第一位を含む入賞者を多数出しました。桑原ヒサ子教授の名司会のもと、北垣宗治学長の心に染みる謝辞、房文慧、松崎洋子、松本ますみの三先生による記念品贈呈、宇田川潔事務局長による乾杯。どの瞬間も、和やかで華やいでいました。ちょっぴり寂しさを含みながら。全員国際文化学科の同僚であられるので、学科長としての謝意を込め、私は、大海先生にcreative hunch、浅野先生にrefreshing criticism、西村先生にfuturity but unknownの称号を差し上げた（欠席の田中先生にはのちほど、projective dynamism）。再会の時を約しながら。深謝

総務係 F

(学生部長 田中利幸)

## 引退職の先生を お送りする会

国際文化学科長 延原 時行

「天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。」これは、旧約聖書の中の伝道の書の有名な一節です。出会うにときがあり、別れるにときがあり、貰いたしました。

敬和学園大学にとって、二〇〇一年三月十三日(水)は特別なときでした。本学創設以来、学内外のさまざまな分野でご活躍され、本学のために多大な貢献をされた長老教授、大海宏、浅野幸穂の両先生、また同様にご活躍くださった中堅教授、田中利幸、西村秀雄の両先生の送別会を、新潟東映ホールで、かつてのゼミ生も多数加え、教職員一同で盛大に開催しました。

桑原ヒサ子教授の名司会のもと、北垣宗治学長の心に染みる謝辞、房文慧、松崎洋子、松本ますみの三先生による記念品贈呈、宇田川潔事務局長による乾杯。どの瞬間も、和やかで華やいでいました。ちょっぴり寂しさを含みながら。全員国際文化学科の同僚であられるので、学科長としての謝意を込め、私は、大海先生にcreative hunch、浅野先生にrefreshing criticism、西村先生にfuturity but unknownの称号を差し上げた（欠席の田中先生にはのちほど、projective dynamism）。再会の時を約しながら。深謝

## 高橋満さん

### 新発田市長表彰



昨年十一月二十九日から総務課施設係に勤務し、主に学バスの運転している高橋満さんが、一月四日に「保健衛生の向上」部門で市長表彰を受けました。

三十五年間にわたる献血への協力を称えたものです。高橋さんは実に百二十回も献血しています。十八歳の時にご親戚が交通事故に遭い、輸血が必要となり献血したのがきっかけで、以降自衛隊を退官する昨年まで年に三回から四回行い、これだけの回数になりました。

本学にも年に二回ほど献血車が来ます。毎四十名程度の学生や教職員が献血に協力していますが、年齢が高くなると事前検査の結果で、献血ができる人も多くなります。高橋さんは、毎日のジョギングやテニス、野球などをスポーツを行うことと、食生活に充分気をつけることで健康を保ち、六十歳までは献血をし、奉仕に務めたいと意気込んでいます。高橋さんは、現在五十四歳です。

(文責 長澤)



## クラブ紹介

### 軽音楽部

軽音楽部部長 渋谷俊男

私たち軽音楽部は、日々ビッグな人間になるため、音楽と友に人生をつなび、ジャンルを問わず、音楽を心から愛するものが

集う部です。軽音楽部の部員は約二十名、部室は防音設備冷暖房完備というとてもよい環境で活動しています。活動内容は、主にジャムセッションや色々なミュージシャンのコピーをやっています。その他に学園祭の学生ライブやクリスマスマスターイー、様々な学外の施設でのイベントの中で個々の腕を披露しています。

軽音楽部が求めているもの、それはヤル気です。軽音楽部には決まった活動時間のようなものは無く、イベントなどの時以外は個人の自主性に任せて練習を行っています。楽器の上手い下手関係なく、ヤル気がなければ何も始まりません! 軽音楽部の部室には毎日、音を楽しむ部員たちの活気が満ちています。敬和学園大学にお越しの際には是非、我が軽音楽部の部室をのぞいてみてください。きっと部員たちが暖かく出迎えてくれるでしょう。樂器を弾ける人、弾けない人、これからはじめようかと考えている人、どんな人でも音楽を愛する人に逢えるのを楽しみにしています。

## 学事予告

### ◆四月◆

三日 入学式

八日 新入生歓迎公開学術講演会

十日 前期講義開始

二十六日 新人生オリエンテーション  
(~二十七日)

### 寄付者ご芳名

一般 田村賢雄、鷹澤昭一、信子、

新潟教会婦人会、

東中通教会、新潟YWCA、

新潟信濃町教会、

オレンジ会、後援会

阿部貴子、倉島紀彦、

塩谷真澄、新田和子、

川本正仁

渡辺大知

吳賢權

岩村忠輔

一九九一組

一九九二組

一九九三組

一九九四組

一九九五組

一九九六組

一九九七組

須貝洋人、有澤未欧

# FROM CAMPUS

## キャンパス日誌

### 1月

- 8日 講義再開  
 9日 教授会  
 11日 チャペル・アッセンブリー・アワー③  
 最終講義  
 講師 大海宏 教授「挨拶、新聞、海外旅行」



講師 浅野幸穂 教授  
 「100年前、50年前の日本と中国」



- 16日 最終講義  
 講師 田中利幸 教授「こんな夢を見た」



#### 大学教育会議

- 17日 三年次生就職個別面談  
 19日 大学入試センター試験（～1/20）  
 24日 後期末試験（～2/8）  
 25日 学園理事会  
 26日 外国人留学生入学試験

### 2月

- 1日 一般入学試験（A日程）  
 2日 一般入学試験（B日程）  
 6日 教授会

- 7日 一般入学試験（A日程・B日程・センター試験利用入学試験）合格発表  
 外国人留学生入学試験合格発表  
 9日 春期休暇（～3/31）  
 12日 後期集中講義期間（～2/15）  
 22日 学内合同企業説明会



編入学試験（第2次）

- 27日 教授会  
 28日 編入学試験（第2次）合格発表

### 3月

- 8日 一般入学試験（C日程）  
 13日 教授会  
 ご退職の先生をお送りする会  
 （於：新潟東映ホテル）  
 14日 外国人留学生試験（第2次募集）  
 一般入学試験（C日程）合格発表  
 20日 第8回卒業式



卒業謝恩会（於：新潟グランドホテル）



- 22日 理事会・評議員会  
 31日 学年終わり